

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	-	SGT吸込口位置の変更について説明すること。	今回回答	SGT吸込口位置の変更について説明した資料NS2-補-011改04「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6を2022/2/21の第97回設工認ヒアリングにて説明済みです。	NS2-補-011改04「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6	
2	2022/1/20	NS2-他-027	適正化リスト	島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)	-	適正化理由が分かるように記載を検討すること。	今回回答	適正化理由を追加した資料NS2-他-027改01「島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)」を2022/2/3の第77回設工認ヒアリングにて説明済みです。	NS2-他-027改01「島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)」	
3	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.86	シルトフェンス予備の設置場所の記載を検討すること。	今回回答	シルトフェンスの保有量及び予備の保管について記載を適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.49 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.88	
4	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.13	負圧破損防止に関する相違理由について、記載を検討すること。	今回回答	相違理由について、事象発生後7日間は負圧にならないことを確認している旨追記し、適正化しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.1,13	
5	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.9	2.1設計基準事故時における基本方針について、記載を検討すること。	今回回答	文意として、残留熱除去系(格納容器冷却モード)に係る記載は不要であることから、当該部分の記載を削除し、適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.1 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.9	
6	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.30	ドライウェル及びサブプレッションチェンバの外面に受ける最高の圧力に関する記載を検討すること。	今回回答	ドライウェル及びサブプレッションチェンバの外面に受ける最高の圧力の根拠について、記載を適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.30	
7	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.32	衝撃試験の合格基準について、記載を検討すること。	今回回答	最小値については、3個の試験片が全て表中の値以上であるものを合格とする内容の注記を追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.12 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.33	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
8	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書)	P.39	バウンダリを示した図について、記載を検討すること。	今回回答	検討の結果、図4-3について、原子炉格納容器内にて、合流又は分岐した後に原子炉圧力容器に接続しているラインを追加し、また、系統名称等を適正化しました。なお、記載するラインを追加したことにより、図を新たに追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書」P.18~25 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書)」P.39~42	
9	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書)	P.97	「設計・建設規格」の記載について検討すること。	今回回答	正式名称として、「発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JISME S NC1-2005/2007)」に適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書」P.55 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書)」P.99	
10	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書	P.8	設計基準事故時のサブプレッションチェンバの水量に加えて、水位の記載を検討すること。	今回回答	設計基準事故時の原子炉格納容器の評価水位について追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書)」P.30	
11	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書	P.14	「冷却材喪失時」の記載について検討すること。	今回回答	「冷却材喪失」と「冷却材喪失事故」が混在していたため、「冷却材喪失事故」に統一しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書」P.1.2,15,32,49,50 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書)」P.9,10,36,37,49,88,89	
12	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書	P.33	蒸気凝縮振動荷重の値について、妥当性を説明すること。	今回回答	島根2号機のサブプレッションチェンバに加わる蒸気凝縮振動荷重については、建設当時の評価基準に基づき設定しています。具体的には、Mark-I型格納容器を模擬した試験(米国FSTF試験)の蒸気凝縮振動時の圧力・構造応答を模擬するような荷重条件を設定し、実機の解析モデルに入力することで、サブプレッションチェンバの壁面圧力や構造応答を評価し、算出しています。なお、上記評価手法についてはMark-I型で共通ですが、蒸気凝縮振動荷重の値については、ベント系やトラスの形状の違いによって差異が生じているものと考えられます。(NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設設計条件に関する説明書」P.36参照)	-	
13	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.31	逃がし安全弁の作動後のプール水温の記載について検討すること。	今回回答	逃がし安全弁作動時(開直後):58°C、逃がし安全弁作動後(原子炉圧力容器破損直前):83°Cが、それぞれ分かるように記載しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.31	
14	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.32,35	表のタイトルについて、記載を検討すること。	今回回答	逃がし安全弁作動時(開直後)又は逃がし安全弁作動後(原子炉圧力容器破損直前)かが分かるように表のタイトルを変更しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.32,35	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
15	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.36	図3-7の矢印の記載について検討すること。	今回回答	図3-7の矢印について、蒸気が減少していく過程を表していることを考慮し、適正化しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.36	
16	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.50	格納容器ベント時の動荷重の記載について検討すること。	今回回答	格納容器ベント時の減圧沸騰及び減圧波による影響においては、設計基準事故時には格納容器ベントを行わないため、サプレッションチェンバの急速減圧に伴う減圧沸騰及び減圧波が発生せず、他の動荷重のように比較対象がないことから、現状の記載としております。 (NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.40～51参照)	-	
17	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	表2-3の代表の選定理由について記載を検討すること。	今回回答	代表で動荷重に関する検討を行うものについて、選定理由を追記しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.10	
18	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.20	図2-6のクエンチャ形状が海外プラントと比較できる図について検討すること。	今回回答	図2-6について、クエンチャの全体形状が分かる図に変更しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.20	
19	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.80	格納容器下部冷却に使用する格納容器代替スプレイ系(可搬型)について記載を検討すること。	今回回答	格納容器代替スプレイ系(可搬型)の記載を追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.47 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.81	
20	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.90	注記*12について、内圧が小さく無視できる理由を説明すること。	今回回答	冷却材喪失事故後 $10^{-1}$ 年程度以降の最大内圧が通常運転圧力よりも小さいことを追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.52 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.92	
21	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.88	荷重の種類について、先行審査プラントとの相違理由の記載を検討して説明すること。	今回回答	先行審査プラントとの相違理由の記載内容について適正化しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.90	
22	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.89	表5-1について、適用規格の相違により記載が変わる理由を説明すること。	今回回答	適用規格の相違から、コンクリート製格納容器に適用される荷重状態は記載していないことを明記しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.91	
23	2022/1/27	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.67	表2 No.6の備考について記載を検討して説明すること。	今回回答	No.6及びV(S)-1は、荷重の組み合わせが、死荷重+圧力+CHであることが同じとして、No.6の備考に「V(S)-1の組合せと同様」と記載しております。つまり、圧力の違いについては、組合せの違いとして扱わないものになります。 (NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.67参照)	-	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
24	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.97	繰り返し荷重に対する解析について、先行他社との規格の相違について説明すること。	今回回答 告示第501号及び設計・建設規格の両方を適用している先行他社については、強度計算書にて告示第501号、耐震計算書にて設計・建設規格と、両方の規格を適用しております。一方、島根2号機の原子炉格納容器については、強度計算書及び耐震計算書ともに、設計・建設規格による評価としているため、繰り返し荷重に対する解析においては、設計・建設規格による評価のみを記載しております。 なお、繰り返し荷重に対する解析について、告示第501号と設計・建設規格に基本的な差はなく、告示第501号を適用した場合でも、疲れ解析(疲労解析)を必要としない結論となることを確認しております。 (NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.55～57参照)	-		
25	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.101	許容引張応力Sから許容繰り返し回数Nの算出過程を補足説明資料にて説明すること。	今回回答 補足説明資料に、参考資料6として、許容繰り返し回数Nの算出過程を追加しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.72		
26	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.106	図6-1について、ベント管ペローズの位置を説明すること。	今回回答 図6-1にて、ベント管ペローズの位置を指示しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.59 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.108		
27	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.107	表6-1について、電気配線貫通部のスリーブが配管貫通部に含まれていることが分かるよう記載を検討して説明すること。	今回回答 表6-1, 2, 3について、電気配線貫通部のスリーブは、配管貫通部のスリーブに含めて評価している旨を追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.60,63,68 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.109,112,117		
28	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.108	図6-2について、評価方法(b)として設計・建設規格を準用し評価できる理由を説明すること。	今回回答 設計・建設規格は、原子力発電所の設計/製作に適用することを目的に策定したものであり、技術基準規則解釈でも引用されています。また、先行プラントの新規制基準審査等でも審査実績があり、他の規格に比べ、構造力学理論を精緻に反映したものであるとともに、原子力設備の製作、検査、施工に基づく内容が反映されていることから、設計・建設規格を準用することに問題ないと考えます。 なお、準用とは、設計・建設規格に記載されている必要厚さを求める式を変形し、許容圧力を求める式として使用するという意味で用いており、内容を変更するものではありません。 (NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.61参照)	-		
29	2022/1/27	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書	P.28	真空破壊装置について、サブプレッションチェンバ全体に対する取り付け位置を説明すること。	今回回答 真空破壊装置の設置位置を図4-5として追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.30,31 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.48		

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
30	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.101	負荷運転時における圧力変動の全振幅の算出過程について補足説明資料にて説明すること。	今回回答	比較表の備考欄に算出過程を追加しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」 P.103	
31	2022/2/3	全般	-	-	-	評価において、告示501号ではなく、設計・建設規格を使用することの妥当性を説明すること。	後日回答			
32	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.9	ベントヘッダ等個別の計算書において強度計算結果を示しているものについて、強度計算結果の記載箇所を説明すること。	後日回答			
33	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.18	図4-1について応力評価点P-8の位置が分かるよう記載を検討すること。	後日回答			
34	2022/2/3	NS2-補-011改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	ひずみ率の平均値で評価している理由を説明すること。	後日回答			
35	2022/2/3	NS2-補-011改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	「その他の分析位置」が示す位置を説明すること。	後日回答			
36	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.20	図4-1でヒンジボルトの位置を説明すること。	後日回答			
37	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	全般	シール性能の評価で使用しているシール材の材質を説明すること。	後日回答			
38	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.23	径方向変位の開口量に対する影響を説明すること。	後日回答			
39	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.24	図4-4について開口量の最大値を説明すること。	後日回答			
40	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.29	所員用エアロックのうち円筒胴の評価について、内側と外側の評価結果を説明すること。	後日回答			

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
41	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.44	配管貫通部の代表評価としてX-244を選定している理由を説明すること。	後日回答			
42	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.59	「アレニウス式による活性化エネルギーを用いた換算評価」の算出過程を説明すること。	後日回答			
43	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.80	表2-1について残留ひずみの有無を説明すること。	後日回答			
44	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.40	図7-2について各構成部品の位置を説明すること。	後日回答			
45	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.49	必要有効断面積と総有効断面積の算出過程を説明すること。その他、評価式を記載していないものについては算出過程を説明すること。	後日回答			
46	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.106	試験概要図において一次シール及び二次シールの位置を説明すること。	後日回答			
47	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.105	「一次シール部」の記載について記載の統一を検討すること。	後日回答			
48	2022/2/17	NS2-補-011改03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.24	図6についてコリウムシールドとコンクリートトラップの位置を説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドとコンクリートトラップの位置関係が分かるよう図を修正しました。	NS2-補-011 改07「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙3-5(通し頁P.25)	
49	2022/2/17	NS2-他-027改02	その他(適正化)	鳥根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)	P.7	「スリット部が非常に狭隘であること」と「水が存在しないこと」が保守的となることが分かるよう記載を検討すること。	2022/4/14	水が存在しないことが保守的な評価となる旨、記載を追記しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.10	
50	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.9	「3.コリウムシールド構造」について、コリウムシールドの厚さを説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドの厚さについて記載を追記しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.6	
51	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.9	コリウムシールドの構造について、溶融炉心に対する考慮事項の先行審査プラントとの違いについて、備考欄の記載を検討すること。	2022/4/14	先行審査プラントとの溶融炉心に対する考慮事項の違いについて、備考欄の記載を修正しました。	NS2-添1-066 改01(比)「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.9	
52	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.10	床面積に対する設計要求事項について、「溶融炉心拡がり面積の減少」と「全面を覆う構造」の関係を説明すること。	2022/4/14	鳥根2号機のコリウムシールドは床面全体を覆う構造であり、溶融炉心の堆積高さ等の算出に必要な床面積は減少しないため、コリウムシールドの設置状況がわかるよう、記載を修正しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」P.7	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
53	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計)	P.103	コリウムシールドの製造公差について、コリウムシールド単体での厚さに対する製造公差ではなく、全体の厚さに対する製造公差で管理している理由を説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドの耐熱材はサブ防護材と犠牲材の二層構造であり、これらをZrO <sub>2</sub> を主成分とする目地材で隙間なく接着することにより、耐熱層として一体となって機能を発揮します。耐熱材の単品厚さは工場で測定し、製造公差内に入っていることを確認しているため、全体の厚さを管理する場合であっても、耐熱材が極端に薄くなったり、目地材が必要以上に厚くなったりすることがないことから、島根2号機のコリウムシールドの厚さは、目地材等を含む全体の厚さに対する製造公差で管理する方針としています。	-	
54	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計)	P.12	カバープレートについて、名称の統一を検討すること。	2022/4/14	ライニングプレートで名称を統一しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計」P.13	
55	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計)	P.7.8	図3-1と図3-2の関係について説明すること。また、図3-2についてスリット部の構造およびスリット高さを説明すること。	2022/4/14	図3-1と図3-2の関係を記載し、スリット部の構造が分かる図3-3を新たに追加しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2コリウムシールドの設計」P.7.8	
56	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.4	建物の負圧維持を確認する圧力計の配置及び負圧値について説明すること。	2022/3/10	差圧計については図1へ追記しました。また、原子炉建物原子炉棟内の差圧値については、1.及び3.に反映しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.1,2(通し頁P.4,5)	
57	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	トラス室からの吸込みがトラス室上部ハッチになったことによる悪影響等を説明すること。	2022/3/10	トラス室からの排気ダクト流路面積と、トラス室上部ハッチの開口面積を比較し、負圧機能へ影響を及ぼさないことを追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.3(通し頁P.6)	
58	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.7	1階から燃料取替階まで吹き抜けがあることを説明すること。	2022/3/10	図5に、原子炉建物原子炉棟の地上階が大物搬入口を介して吹き抜け構造であることを図示しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.5(通し頁P.8)	
59	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.5	吸込口に異物混入防止の網があることを説明すること。	2022/3/10	図2の外観写真を拡大し、異物混入防止の網があることを追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.2(通し頁P.5)	
60	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	負圧に達する時間について、吸込口の位置変更による影響の有無を説明すること。	2022/3/10	非常用ガス処理系による負圧達成時間について、机上評価と実機データとの比較結果を追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.3(通し頁P.6)	
61	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	図7-1について詳細に説明すること。	2022/3/10	対策前の図を追加するなど図のレイアウトを変更し、図全体を拡大しました。なお、図7-1は図の追加により、図7-2に図番を変更しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
62	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	原子炉ウェル側のみ溶接で閉止することについて説明すること。	2022/3/10	図7-2において、原子炉ウェル側の吸込口を閉止(溶接構造)としました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
63	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	V216-512の下流側について説明すること。	2022/3/10	図7-2において、V216-512をドレン弁(V216-512)とし、接続先として原子炉建物機器ドレンサンプタンクを記載しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
64	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	表7-1の原子炉ウエル排気ラインの排気風量について、改造前の値であることを説明すること。	2022/3/10	説明内容をより明確化するため、下線部を追記しました。 <修正後> 原子炉ウエル排気ラインの排気風量は、原子炉建物原子炉棟全体及び4階の排気風量に対し、ごく僅かであり、当該ラインを閉止したことにより、原子炉ウエル排気ラインの排気風量が0m <sup>3</sup> /h(成り行き)から完全に0m <sup>3</sup> /hになったとしても空調バランスへの影響はほとんど無いと考えられる  また、表題を適正化しました。 (旧)表7-1 各設備の排気風量 (新)表7-1 各設備の排気風量(原子炉ウエル排気ライン閉止前)	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.31(通し頁P.14)	
65	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	原子炉ウエルシールドプラグの隙間について説明すること。	2022/3/10	構造を説明するため、図7-1 原子炉ウエルシールドプラグの構造を追加しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.29(通し頁P.12)	
66	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.3	適正化箇所No.9について、設備変更ではないことを説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.9,13,18に、記載方針の相違であり、設備仕様に変更はない旨を追記しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.10,11	
67	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	適正化箇所No.17の誤記について詳細に説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.17に、表4-1の誤記に関する詳細理由を追加しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.11	
68	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.20	可燃性ガス濃度制御系の起動時間について説明すること。	2022/4/14	可燃性ガス濃度制御系の起動までの時間を追記しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2のP.9(通し頁P.11)	
69	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.63	漏えい想定箇所のサブプレッションチェンバークセスハッチについて、設置場所を説明すること。	2022/4/14	設置階が地下1階であることを明記しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2-別添1のP.18(通し頁P.41)	
70	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.45	表2-2について、先行審査プラントに比べ水素発生量が少ないことを説明すること。	2022/4/14	水素発生量の違いは、備考欄に記載のとおり、燃料装荷量の違いによります。なお、プラント毎にタービン効率の相違等があることから完全一致はしませんが、燃料装荷量と電気出力についてはほぼ比例関係となります。	-	
71	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	適正化箇所No.16の図2-5のスケール変更について詳細に説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.16に、図2-5のスケールの標準化に関する詳細を追加しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.11	
72	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.103	温度計を設置するPAR2台について、選定の考え方を説明すること。	2022/4/14	静的触媒式水素処理装置入口温度及び静的触媒式水素処理装置出口温度を設置するPARを2個とした理由が分かるよう記載を見直しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2-別添1 別紙4のP.4(通し頁P.77)	
73	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	局所エリアについて、なぜSRV補修室のみ重力ダンパが設置されているのか、目的、構造等(作動値含む)を含めて説明すること。	2022/4/14	補足説明資料に、重力ダンパの設置目的、構造を追加しました。	NS2-補-011改07「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.12,13(通し頁P.44,45)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
74	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.26	「連絡管」と「連結管」について、記載の統一を検討すること。	後日回答			
75	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.54	備考欄の電源設備の記載について検討すること。	後日回答			
76	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.19	流量制限オリフィスの位置を示すこと。	後日回答			
77	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.31	図2-6の凡例について検討すること。	後日回答			
78	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.38	表2-4のベンチュリノズル及び金属フィルタの個数について、各容器の個数を説明すること。	後日回答			
79	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.59	スクラバ容器温度の測定の考え方について説明すること。	後日回答			
80	2022/3/3	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.208	最高使用温度に対して温度上昇率を考慮した場合でも、CsOHの融点より低いことを説明すること。	後日回答			
81	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.83	表3-5について、試験条件と主要な因子の関係を整理して説明すること。	後日回答			
82	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.130	表4-4の試験圧力の記載について検討すること。	後日回答			
83	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.59	図2-36について、スクラビング水の水位の下限値の記載を検討すること。	後日回答			
84	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.192	ベンチュリノズル部について、スクラビング水位との位置関係を説明すること。	後日回答			
85	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.172, 173	分岐管の解析に使用しているシェルモデルとビームモデルのモデル化範囲の違いについて説明すること。	後日回答			
86	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.132	「系統待機時」の記載について、先行審査プラントとの相違を説明すること。	後日回答			

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
87	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.154	スクラバ容器のマンホールの目的及び運用について説明すること。	後日回答			
88	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.155	流量制限オリフィス以降の最高使用圧力の設定について、補足して説明すること。	後日回答			
89	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.137	下向き枝管について、水封される理由を説明すること。	後日回答			
90	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.159	可搬式窒素供給装置の容量の設定の考え方について、補足して説明すること。	後日回答			
91	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.187	スクラビング水の水位評価において、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を考慮している理由を説明すること。	後日回答			
92	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.191	管理値(水位低)を修正して説明すること。	後日回答			
93	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.144	図1-6の弁の開閉状態の表示を修正して説明すること。	後日回答			
94	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.85	図3の系統構成を修正して説明すること。	後日回答			
95	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.256	被ばく評価上で最大となるベント実施時の作業について、対象の作業が分かるよう記載を検討すること。	後日回答			
96	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.250	第2弁開操作時と第1弁開操作時の被ばく評価結果の違いを説明すること。	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
原子炉格納施設関連の過去の工認記載適正化箇所については、NS2-他-027改02で整理済みのため省略。						
1	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.2	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)2.2 原子炉建物等の損傷を防止するための水素濃度低減設備 3 (新)2.2 原子炉建物等の損傷を防止するための水素濃度低減設備 4	2022/2/16	
2	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	工認図書内の用語の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)排出経路における放射線量率を測定し、 (新)排出経路における線量当量率を測定し、	2022/2/16	
3	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	格納容器フィルタベント系の排出経路に設置される電動弁の電源設備に加え、ベント時に使用する計装設備に対する電源設備を追記し、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。 (新)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型直流電源設備から給電が可能な設計とする。	2022/2/16	
4	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.13	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)については代替電源設備による給電並びに格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)の起動した時点で使用可能となるが、有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」においてはこの時点では原子炉格納容器内の酸素濃度は5vol%に到達しない。 (新)格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)については代替電源設備による給電後に、格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)を起動した時点で使用可能となるが、有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」におけるこの時点では原子炉格納容器内の酸素濃度は5vol%に到達しない。	2022/2/16	
5	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.13	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」においては原子炉補機代替冷却系が使用可能となる時点では (新)有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」における原子炉補機代替冷却系が使用可能となる時点では	2022/2/16	
6	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.13,14	格納容器水素濃度(B系)及び格納容器酸素濃度(B系)の計測範囲の変更に伴い、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器水素濃度(B系)の計測範囲0~5vol%/0~100vol%において、計器仕様は最大±0.16vol%/±3.2vol%(ウェット)、±0.13vol%/±2.5vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度(B系)の計測範囲0~5vol%/0~25vol%において、計器仕様は最大±0.16vol%/±0.78vol%(ウェット)、±0.13vol%/±0.63vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度の最大計測誤差は、ドライ条件において±0.13vol% (新)格納容器水素濃度(B系)の計測範囲0~20vol%/0~100vol%において、計器仕様は最大±0.64vol%/±3.2vol%(ウェット)、±0.5vol%/±2.5vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度(B系)の計測範囲0~10vol%/0~25vol%において、計器仕様は最大±0.32vol%/±0.80vol%(ウェット)、±0.25vol%/±0.63vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度(B系)の最大計測誤差は、ドライ条件において±0.25vol%	2022/2/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
7	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.16	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)図4-3に熱電対の取り付け位置を示す。 (新)図4-3に熱電対の取付位置を示す。	2022/2/16	
8	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.18	格納容器フィルタベント系の排出経路に設置される電動弁の電源設備に加え、ベント時に使用する計装設備に対する電源設備を追記し、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。 (新)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型直流電源設備から給電が可能な設計とする。	2022/2/16	
9	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.20	図4-2について、工認図書内の用語の統一を図るため、安全パラメータ表示システムに関する注記を適正化しました。(下線部削除) なお、本変更は記載方針によるものであり、設備仕様に変更はありません。 (旧)安全パラメータ表示システム(SPDS) (SPDS伝送サーバ) (新)安全パラメータ表示システム(SPDS)	2022/2/16	
10	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.41	原子炉ウェル内の水素漏えい対策を実施することから、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> ドライウェル主フランジからの水素漏えいは、ドライウェル主フランジがある原子炉ウェル内の下層階へ通じる原子炉ウェル排気ライン吸込口の閉止及び原子炉ウェル水張りラインのドレン弁の閉運用への変更を実施することから、原子炉建物原子炉棟4階(ドライウェル主フランジ)のみから漏えいする条件又は複数フロアから漏えいする条件を使用する。複数フロアからの漏えいを想定する場合、各フロアの漏えい量は、全漏えい量を各漏えい箇所の周長割合で分配して計算する。	2022/2/16	
11	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.50,51	天井取付であることから、基準床を考慮し、図2-24を中2Fベースの配置図に変更しました。また、図2-23、2-25、2-26のベースとなる配置図を最新化しました。	2022/2/16	
12	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.52	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)触媒式水素検出器、熱伝導式水素検出器にて水素濃度を検出し、演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後、原子炉建物水素濃度を中央制御室及び緊急時対策所に指示し、記録する。 (新)触媒式水素検出器又は熱伝導式水素検出器からの電流信号を演算装置を経由又は直接中央制御室の指示部にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、原子炉建物水素濃度を中央制御室に指示する。また、安全パラメータ表示システム(SPDS)にて記録及び保存する。	2022/2/16	
13	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.52	図2-27及び図2-28について、工認図書内の用語の統一を図るため、安全パラメータ表示システムに関する注記を適正化しました。(下線部削除) なお、本変更は記載方針によるものであり、設備仕様に変更はありません。 (旧)安全パラメータ表示システム(SPDS) (SPDS伝送サーバ) (新)安全パラメータ表示システム(SPDS)	2022/2/16	
14	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.56	表1-1について、参照しない試験条件を記載していたため、適正化しました。(下線部削除) (旧)水素濃度 3~5vol%, 9~10vol% (新)水素濃度 3~5vol%	2022/2/16	
15	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.59,60,61	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図2-2, 図2-3, 図2-4, 図2-5 (新)図2-3, 図2-4, 図2-5, 図2-6	2022/2/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
16	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.60	図2-5について、1/1スケールに標準化(PARの水素処理容量は開口面積に比例するため、1/2.1/4.1/8スケールをそれぞれ2倍、4倍、8倍)した結果を掲載しておりましたが、説明文との整合の観点から、標準化しない結果に変更しました。	2022/2/16	
17	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.63	表4-1について、誤記を修正しました。経緯として、圧力については、0.21MPaを単位換算した数値を記載しておりましたが、同引用文献内にbar単位の記載として、2barの記載があることを確認したため、2barに修正しました。また、温度については、詳細な試験結果が記載されている図書を参照した数値を記載しておりましたが、当該図書は引用文献として挙げていない一方で、引用文献として挙げている図書には詳細な記載がなく、2つの温度をまとめて~295K(=22°C)と記載していることを確認したため、22°Cに修正しました。 (旧)2.1bar, 17°C, 24°C (新)2bar, 22°C, 22°C	2022/2/16	
18	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.76	図2-2について、工認図書内の用語の統一を図るため、安全パラメータ表示システムに関する注記を適正化しました。(下線部削除) なお、本変更は記載方針によるものであり、設備仕様に変更はありません。 (旧)安全パラメータ表示システム(SPDS) (SPDS伝送サーバ) (新)安全パラメータ表示システム(SPDS)	2022/2/16	
19	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	工認図書内の用語の統一を図るため、適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉棟空調換気系排気ダクト (新)原子炉棟空調換気系ダクト	2022/3/7	
20	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	解析上の水素ガス経路を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部追記) (旧)GOTHICコードを用いた水素濃度解析では、ドライウェル主フランジから漏えいする水素ガスは原子炉ウェル上部から原子炉建物原子炉棟4階に流出する (新)GOTHICコードを用いた水素濃度解析では、ドライウェル主フランジから漏えいする水素ガスは原子炉ウェル上部から原子炉ウェルシールドプラグ(図7-1参照)の隙間を通して原子炉建物原子炉棟4階に流出する	2022/3/7	
21	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	対策内容をより明確化するため、記載を適正化しました。(下線部追記) (旧)原子炉ウェル排気ラインについては原子炉ウェル内側の吸込口を閉止(溶接構造)するとともに、原子炉ウェル外側から原子炉棟空調換気系ダクトまでのラインを撤去する。 (新)原子炉ウェル排気ラインについては原子炉ウェル内側の吸込口を閉止(溶接構造)するとともに、原子炉ウェル外側については、原子炉ウェル外側から原子炉棟空調換気系ダクトまでのラインを撤去し、開口部については閉止する。	2022/3/7	
22	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11,13	図7-1 原子炉ウェルシールドプラグの構造の追加に伴い、対策イメージはの図番号を「図7-2」に適正化しました。	2022/3/7	
23	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	工認図書内の用語の統一を図るため、適正化しました。(下線部参照) (旧)シールドプラグ (新)原子炉ウェルシールドプラグ	2022/3/7	
24	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	対象を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)定期的に通風弁を「開」することにより、シートパスの監視・・・ (新)定期的に通風弁を「開」することにより、燃料プール冷却ラインとの隔離弁からのシートパスの監視・・・	2022/3/7	
25	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	耐震補強の工事目的について、誤りがあったため、適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉ウェル水張りラインは、内部溢水による漏えいを防止するため、耐震性を確保することとしている。 (新)原子炉ウェル水張りラインは、原子炉ウェル代替水系の設置に伴い、耐震性を確保することとしている。	2022/3/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
26	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.3	マスキング範囲について、適正化しました。(目地材の仕様をマスキング範囲から除外)	2022/4/8	
27	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.8~10	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.055の水平展開として、図番号を適正化しました。	2022/4/8	
28	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.10	マスキング範囲について、適正化しました。(1.3mをマスキング範囲から除外)	2022/4/8	
29	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.14	表4-1の記載項目の順番に合わせ、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-2 製造公差と各種評価への影響(2/3) (新)表4-2 製造公差と各種評価への影響(3/3)	2022/4/8	
30	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.14	表4-1の記載項目の順番に合わせ、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-2 製造公差と各種評価への影響(3/3) (新)表4-2 製造公差と各種評価への影響(2/3)	2022/4/8	
31	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.14	表4-1の記載項目の順番に合わせ、「スリット高さ」と「スリット幅」の記載位置を適正化しました。	2022/4/8	
32	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.3,4,12,13	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水素及び酸素 (新)水素ガス及び酸素ガス	2022/4/8	
33	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.4	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照)(2箇所) (旧)不活性ガスである窒素 (新)不活性ガスである窒素ガス	2022/4/8	
34	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水素と酸素、水素及び酸素 (新)水素ガスと酸素ガス、水素ガス及び酸素ガス	2022/4/8	
35	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.8	図2-3について、弁の状態表示を系統待機時の系統構成に変更しました。	2022/4/8	
36	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.9	図2-4について、弁の状態表示を系統待機時の系統構成に変更しました。	2022/4/8	
37	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.12	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)不活性ガス(窒素) (新)不活性ガス(窒素ガス)	2022/4/8	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
38	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.42	図2-13から図2-15について、原子炉建物付属棟を含めた平面図であることから図のタイトルから原子炉棟を削除するとともに、図中に原子炉建物原子炉棟の範囲を明記しました。(下線部参照) (旧)図2-13 原子炉建物原子炉棟2階, 図2-14 原子炉建物原子炉棟1階, 図2-15 原子炉建物原子炉棟地下1階 (新)図2-13 原子炉建物2階, 図2-14 原子炉建物1階, 図2-15 原子炉建物地下1階	2022/4/8	
39	NS2-添1-068 改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.26	P.11に掲載している類型化表と不整合があったため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)⑦ 静的触媒式水素処理装置の型式が異なるため、1個当たりの水素処理容量が異なる (新)⑦ 静的触媒式水素処理装置型式が異なるため、1個当たりの水素処理容量が異なる	2022/4/8	
40	NS2-補-011改07	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.32	本文の修正に伴い、ページ番号を修正しました。	2022/4/8	
41	NS2-補-011改07	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.34	図1-3及び図1-4について、マスキング範囲から除外しました。	2022/4/8	
42	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.3	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉格納容器内を不活性化するため、原子炉格納容器内に窒素を供給する (新)原子炉格納容器内を不活性化するため、原子炉格納容器内に窒素ガスを供給する	2022/4/15	
43	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.18~24	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.8で図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(8/8)を追加したことにより、図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(1/7~7/7)までの図題を変更しました。(下線部参照) (旧)図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(1~7/7) (新)図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(1~7/8)	2022/4/15	
44	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.18,19,20	第一水源の変更に伴い、以下を反映し、記載を適正化しました。 ・図4-3(1/8):MV221-3の状態表示の変更 ・図4-3(2/8):MV221-36及びMV224-11の追加 ・図4-3(3/8):MV224-2の状態表示の変更	2022/4/15	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
45	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.19	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉再循環系(サンプリング系) (新)原子炉再循環系  (旧)残留熱除去系(低圧注水系) (新)残留熱除去系(低圧注水モード)  (旧)残留熱除去系(原子炉停止時冷却系)(停止時冷却) (新)残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)  (旧)残留熱除去系(格納容器スプレイ系) (新)残留熱除去系(格納容器冷却モード)  (旧)残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却系) (新)残留熱除去系(格納容器冷却モード)  (旧)残留熱除去系(サブプレッション・プール冷却系) (新)残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	2022/4/15	
46	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.21	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉建物換気空調系 (新)原子炉棟空調換気系	2022/4/15	
47	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.21	記載漏れであった「注記」を追記しました。	2022/4/15	
48	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.22	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)液体廃棄物処理系 (新)液体廃棄物処理系(ドレン移送系)  (旧)エリア放射線モニタ系(ダスト放射線モニタ) (新)エリア放射線モニタ系	2022/4/15	
49	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.24	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉圧力容器計装 (新)原子炉圧力容器計装系  (旧)ジェットポンプ計装 (新)原子炉圧力容器計装系	2022/4/15	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
50	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.33～42	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.29で図4-5を追加したことに伴い、図番号を適正化しました。	2022/4/15	
51	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.44	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器代替スプレイ系(常設)は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・ (新)格納容器代替スプレイ系(常設)は、 <u>代替所内電気設備を経由した常設代替交流電源設備からの給電が可能な設計とする。</u> また、系統構成に使用する電動弁は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・	2022/4/15	
52	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.44	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器代替スプレイ系(可搬型)は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・ (新)格納容器代替スプレイ系(可搬型)のうち系統構成に使用する電動弁は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・	2022/4/15	
53	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	基本設計方針66条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ベDESTAL代替注水系(常設)は、代替所内電気設備を経由した・・・ (新)ベDESTAL代替注水系(常設)は、 <u>代替所内電気設備を経由した常設代替交流電源設備からの給電が可能な設計とする。</u> また、系統構成に使用する電動弁は、代替所内電気設備を経由した・・・	2022/4/15	
54	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	基本設計方針66条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ベDESTAL代替注水系(可搬型)は、代替所内電気設備を経由した・・・ (新)ベDESTAL代替注水系(可搬型)のうち系統構成に使用する電動弁は、代替所内電気設備を経由した・・・	2022/4/15	
55	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.67	表6-3の注記*3について、本頁の表内に記載がないため、削除しました。	2022/4/15	
56	NS2-添1-064改01(比)	先行プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.1,14,15	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、相違No.⑩の相違理由の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機の格納容器代替スプレイは、 <u>ドライウェル側へのスプレイの方が効果的なため、ドライウェル側のみスプレイを実施する</u> (新)島根2号機の格納容器代替スプレイは、 <u>炉内で発生する熱がサブプレッションチェンバ側に移行する場合においてもスプレイ先の違いによる格納容器冷却の効果に大きな差がないことから、格納容器ベント遅延の観点より、ドライウェル側のみスプレイを実施する</u>	2022/4/15	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
57	NS2-添1-064改01(比)	先行プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明 書)	P.74,75	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・設備の相違 (新)・記載方針の相違	2022/4/15	
58	NS2-補-011改09	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格 納施設)	P.25	図2-10について、誤記(補助線のずれ)を修正しました。	2022/4/15	
59	NS2-補-011改09	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格 納施設)	P.28	ダウンカマ内の水の噴流速度の値について、誤記を修正しました。	2022/4/15	